

3学年コーナー

9月10日（金）、3年生にとって旭中学校最後となる体育祭が行われました。前日の雨で、当日は早朝から先生方と生徒のみなさんが一緒になってグラウンド整備を行い、10時に開会式がスタートしました。コロナ禍で体育祭自体が縮小されましたが、実行委員や応援団リーダーの熱意、全力で取り組む3年生の姿に変わりはなく、最後は色の壁を越えて仲間を拍手でたたえる姿が清々しく心に残りました。2年生の時に比べ飛躍的に成長した頼もしい3年生の姿を見て嬉しくなりました。

さて、明日から10月。今、どのクラスも22日の「みずなら祭合唱コンクール」に向けて、パート練習を頑張っています。この行事が学級の仲間と協力して取り組む最後の行事です。中学校生活最後のステージで、最上級生として最高の歌声を響かせてくれることを願っています。また、11月半ばの三者面談を前に、いよいよ自分自身の進路選択についても具体的に考えていく時期を迎えます。前期の成績やこれまで取り組んできた実力テストの結果をもとに、目標をしっかりと設定した上で、家庭学習に一層力を入れていきましょう。また、秋に行われる学校説明会の参加や家族や先生方からのアドバイスを参考にしながら、自分の進路や受験校についても真剣に考えていきましょう。

1学年コーナー

体育祭が終わり、テストの返却が終わり、新しい単元の授業が始まりました。タブレット端末を活用した授業も増えてきました。新しい学習形態として、家庭でも課題に取り組むことがあると思います。

適切な使い方ができていますか。学校では、10月からタブレット庫のカギの開錠は朝の会後の10分間、帰りの会前の5分間として、自己管理の徹底を図っていくことにしました。社会科の授業では、資料作成を通して、活用能力が驚くほど速く身に付いていると感じています。これからの学校、家庭で、適切な使用に努め、効果的な学習につなげていきましょう。

10月5日の生徒会役員選挙には、5名の生徒が立候補しました。全員が「旭中をより良くする」という志を胸に選挙活動に励んでいます。みなさん一人一人が投票権を持つ生徒会の一員です。意味ある一票を投じられるようにしましょう。

10月末には、みずなら祭合唱コンクールがあります。無事に行事を迎えるためにも、感染症対策に努めましょう。分散下校もその一つです。駐輪場、正門付近での密が起きないように、素早く下校をしましょう。

文責 進藤 玲音

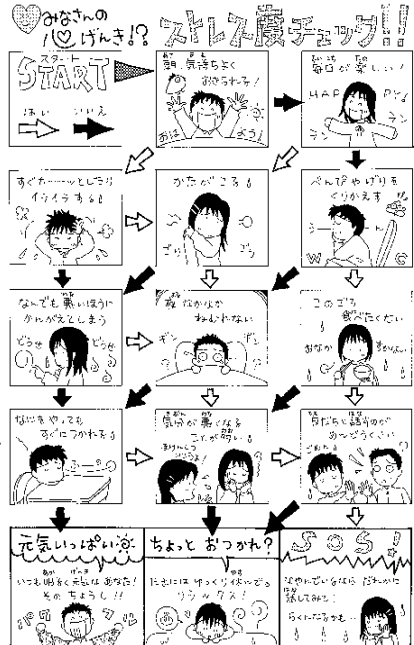


読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋。空は高く澄みわたり、風が気持ちのいい秋。何かに挑戦するにはとてもいい季節です。みなさんの秋は何の秋ですか？好きなことをたくさん見つけて、心にも体にも栄養を与え、たっぷりと蓄えたパワーで、みずなら祭を迎えましょう。

教育相談期間 ～「誰かに話せる」という癒やし～

10月25日（月）～11月1日（月）を「教育相談期間」として、担任の先生とみなさんが1対1の面談をします。思春期を迎えたみなさんは、勉強のこと・友人関係のこと・将来のこと、様々な悩みを抱えていることでしょう。悩みを話すことによって「誰にも話せない深刻な悩み」から「人に話せる程度の深刻な悩み」へと気持ちの上で変えられるかも知れません。不安な気持ちがトーンダウンして少し気分が晴れば、ポジティブに問題に取り組むことができます。

「相談するという行為」自体が、不安の悪循環を断ち切ってくれることもあるのです。自分だけで不安な気持ちを抱えないことです。家族や友人に話してほしいという時は、ぜひ、相談室や保健室の存在を思い出してくださいね。



2学年コーナー

4月から始まった前期があっという間に終わり、10月11日から後期を迎えます。後日通知表が渡されますが、それを見て、ぜひ今後の自分の物事への向き合い方を考える機会にしてほしいです。前期は頑張った！と思う人もいれば、「あの時こうしていれば・・・」という反省を感じている人など、それぞれいろいろな思いがあると思います。後期は、3年生からの思いを引き継ぎ、2年生の皆さんが学校を動かしていきます。学校がどう動いていくか、それは皆さんの心次第です。一人一人の前向きな気持ちが、大きな力となって学校を動かしていきます。自分自身の成長が学校の成長につながることをぜひ自覚しながら、これからの生活を送ってほしいと願っています。

また、いまだ新型コロナウイルスの影響で行事を行うことが難しい状況です。そのような中、無事体育祭を終えることができました。みなさんが一生懸命競技に臨む姿を見て、私は胸が熱くなりました。10月末には合唱コンクールがあります。今は一つ一つの行事がとても貴重です。思い出に残るものにするために、日ごろの合唱練習を頑張ってください。

